

## 遮音壁の設計計算 Ver.4

プログラム価格  
¥143,000

JH設計要領に準拠し、遮音壁の設計計算を行なうプログラム

Windows 7/8/10 対応  
電子納品 3D PDF

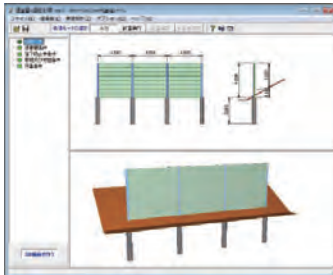
JH設計要領第五集「遮音壁設置要領」に準拠し、遮音壁の設計計算を行うプログラムです。遮音壁の種類としてはコンクリート板、金属板、アクリル板を用意し、それぞれ任意サイズを登録追加可能です

- 支柱形式：直壁タイプ、張出タイプ（直線+円弧）
- 支柱部材：H形鋼（任意サイズを自由に登録追加可能）
- 支柱断面：断面変化（継手の設置）、経済設計が可能
- 大型遮音壁の設計も対応
- 基礎形式：鋼管杭基礎、直接基礎、高欄取付け、BOXカルバート上部取付け
- 杭基礎の設計：水平方向の安定照査、杭体応力度照査
- 直接基礎の設計：地盤の鉛直支持力、転倒・滑動に対する安定照査
- 高欄取付け・ボックスカルバート上部取付け：アンカーボルトの設計
- 荷重：死荷重、風荷重、土圧考慮、支柱付根断面力が最も不利になるよう荷重
- 落下防止索の安定照査が可能

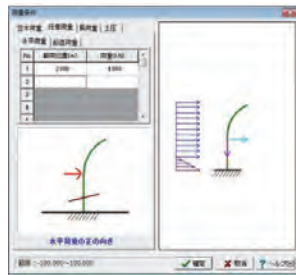
### 適用基準及び参考文献

1. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H27年7月 東・中・西日本高速道路株式会社
2. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H25年7月 東・中・西日本高速道路株式会社
3. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H21年7月 東・中・西日本高速道路株式会社
4. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H18年4月 東・中・西日本高速道路株式会社
5. 道路標示方書・同解説 IV 下部構造編 H14年3月 日本道路協会

### ▼メイン画面



### ▼メインウィンドウ（直接基礎タイプ）



## 道路標識柱の設計計算 Ver.2

プログラム価格  
¥173,000

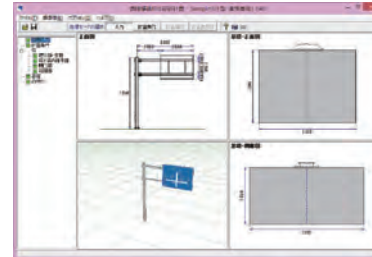
道路標識ハンドブックに準拠した、道路標識柱の設計計算プログラム

Windows 7/8/10 対応  
電子納品 3D PDF

『道路標識ハンドブック 2012年度版』に記載されている照査内容に基づき、柱や基礎の検討を行う道路標識柱の設計計算プログラムです。

- 柱形状：路側式の「単柱型」と「複柱型」、片持ち式の「F型」、「逆L型」、「T型」
- F型・逆L型・T型：添架式標識に対応
- 単柱型：「円形」「長方形」「正方形」「三角形」「逆三角形」「ひし形」「五角形」に対応
- 単柱型の場合、標識の中心線の支柱からのずれを考慮した検討可能
- T型：梁材が1本の場合や、左右の標示板の大きさが異なる非対称形式も対応
- 複柱型の場合、左右で支柱の長さが異なる場合の検討可能。
- 基礎部：土柱埋込式（根かせあり/なし）、ケーソン式、直接基礎、杭基礎（2本杭）
- 梁部、柱部、柱と梁の継手部、開口部、柱脚部、基礎の照査に対応
- 直接基礎・杭基礎：土被り厚を考慮した計算に対応 / 支柱位置の偏心に対応 / 道路横断方向の安定照査及びフーチング照査に対応
- 無筋コンクリート照査対応
- 地盤反力度分布を考慮したフーチング照査対応
- ハンドブック内で示されている風時の照査をサポート
- 梁部と柱部の照査以外は省略も可能

### ▼メイン画面



### ▼初期入力画面



## 防護柵の設計計算 Ver.2

プログラム価格  
¥80,000

車両用防護柵の安定計算、構造計算プログラム

Windows 7/8/10 対応  
電子納品 3D PDF

車両用防護柵は、自動車が道路外へ脱するのを防止し、道路の安全を確保するための構造物です。防護柵の種類として「剛性防護柵」と「たわみ性防護柵」がありますが、両防護柵の計算に対応しています。

- 剛性防護柵：単スロープ型、フロリダ型、防護柵基礎を含めた安定計算が可能
- 転倒・滑動照査に対して受働土圧を考慮可能
- 荷重：躯体自重、衝突荷重、受働土圧を考慮可能
- 安定計算（転倒、滑動、地盤反力）・構造計算（曲げ応力度照査）
- たわみ性防護柵：標準型・耐雪型（路側、分離帯・歩車道境界）から選択可能
- 3DモデルのIFC形式やAllplanで読み込み可能な形式で出力可能

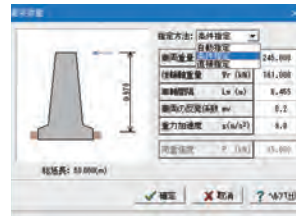
### 適用基準及び参考文献

1. 車両用防護柵標準仕様・同解説 H16年3月 日本道路協会

### ▼メイン画面



### ▼衝突荷重画面



## 管の断面計算 Ver.2

プログラム価格  
¥98,000

剛性パイプカルバート/たわみ性カルバートの設計計算プログラム

Windows 7/8/10 対応  
電子納品

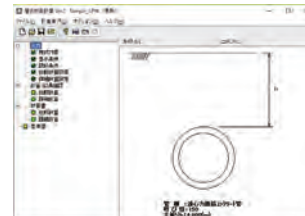
「道路土工カルバート工指針 (H.22.3・H.11.3)」や「設計要領第二集カルバート編 (H.18.4)」に記載されている「剛性パイプカルバート」、「たわみ性カルバート」の設計計算を支援するプログラムです。

- 基礎形式：砂基礎、コンクリート基礎
- 埋設形式：突出型、溝型（半溝型）、杭基礎の場合、突出比での処理が可能
- 比較計算：土被り厚・管径等の選定のため、複数パターンでの計算を一括で実行
- 詳細計算：既定の土被り厚や管径等を入力し、詳細な結果を確認

### 適用基準及び参考文献

1. 土工指針 道路土工カルバート工指針 H22年3月、11年3月 日本道路協会
2. 設計要領第二集カルバート編 H18年4月 東・中・西日本高速道路
3. コルゲートメタルカルバートマニュアル 第三回改訂版 地盤工学会

### ▼メイン画面



### ▼設計条件画面

